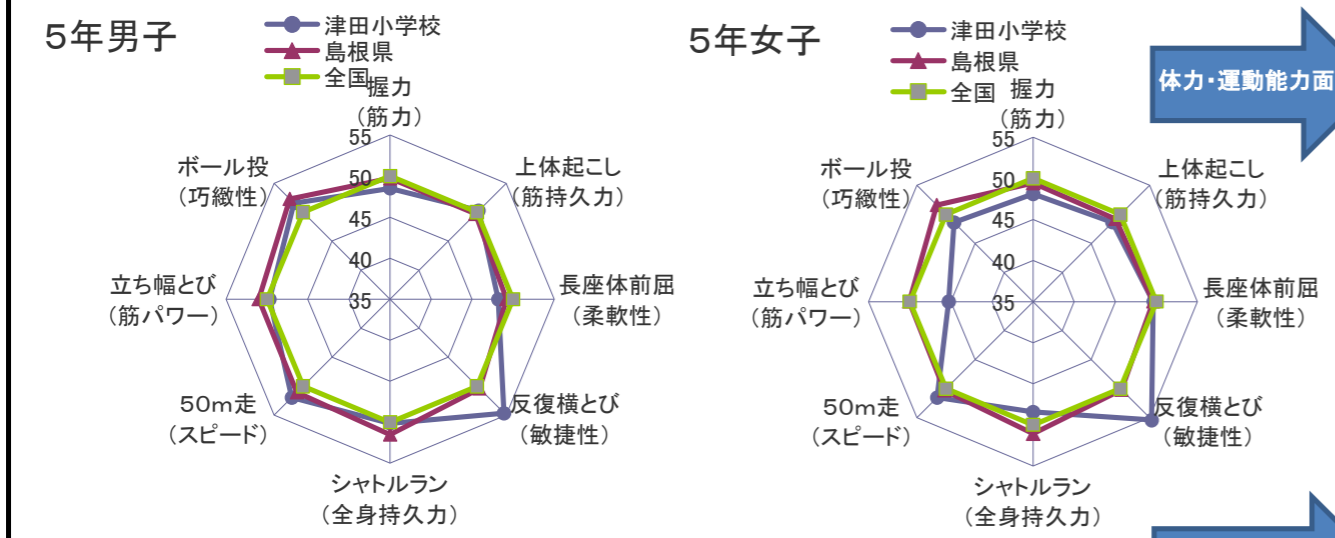
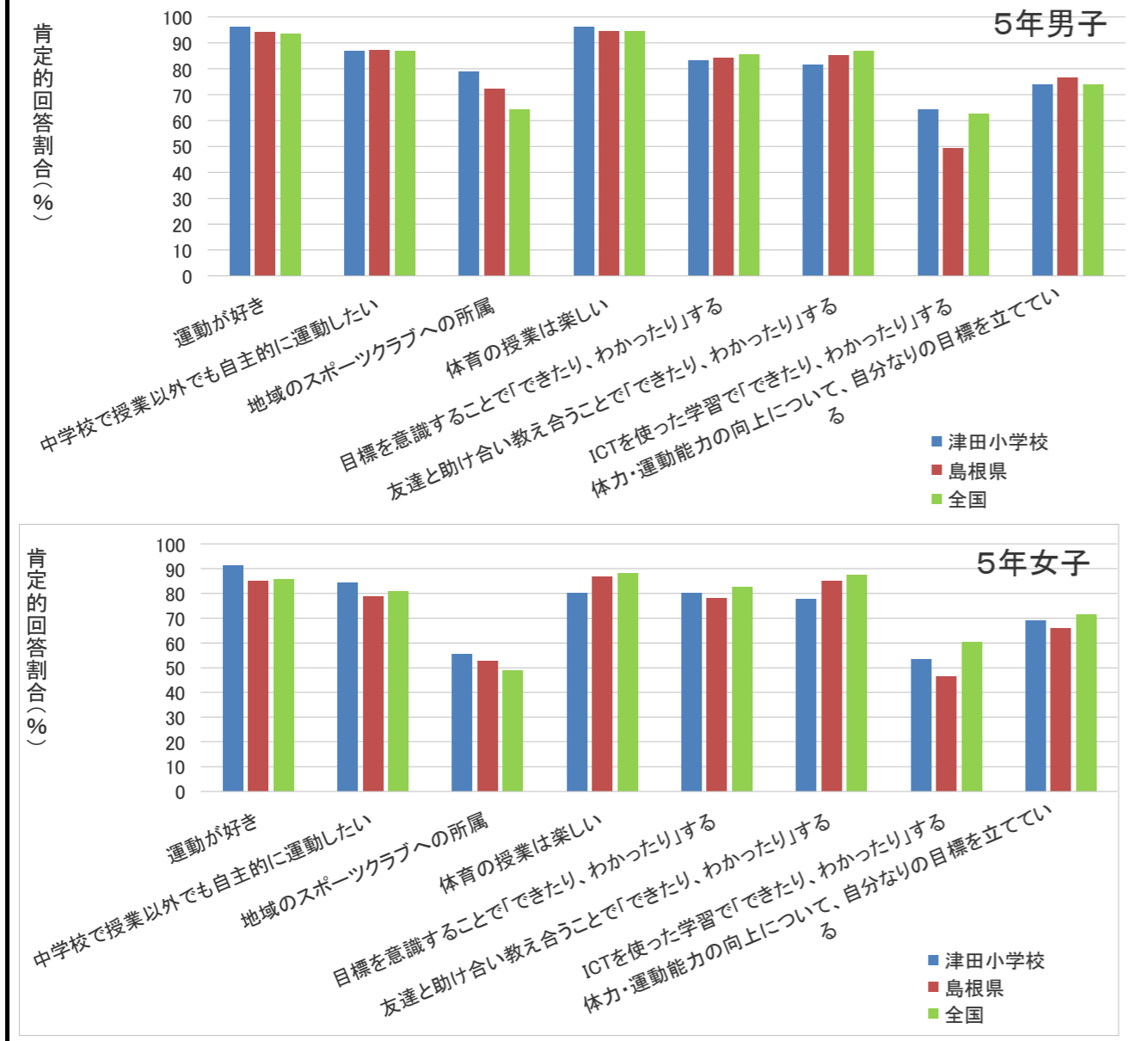


(1) 令和7年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果(全国平均を50としたときの比較)



全国体力・運動能力調査、運動習慣等調査＜意識調査＞の結果
(体力合計点との相関が指摘されているものや松江市教育委員会として注目しているものを挙げています)



(2) 調査結果の分析

① 体力・運動能力面 全国(偏差値)との比較

	握力 (筋力)	上体起こし (筋持久力)	長座体前屈 (柔軟性)	反復横とび (敏捷性)	シヤトルラン (全身持久力)	50m走 (スピード)	立ち幅とび (筋パワー)	ボール投 (巧緻性)
男子	-1.5	0.3	-1.8	4.6	0.1	2.0	-0.3	1.6
女子	-1.9	-1.4	-0.4	5.4	-1.5	1.5	-4.7	-1.4

【-5p以上】 【-5~-2p】 【-2~0p】 【0~2p】 【2~5p】 【5p以上】
弱み ← → 強み

② 意識面 全国(割合%)との比較

	運動が好き	中学校で授業以外でも自主的に運動したい	地域のスポーツクラブへの所属	体育の授業は楽しい	目標を意識することで「できたり、わかったり」する	友達と助け合い教え合うことで「できたり、わかったり」する	ICTを使った学習で「できたり、わかったり」する	体力・運動能力の向上について、自分なりの目標を立てている
男子	2.8	-0.1	14.5	1.6	-2.3	-5.3	1.6	0.2
女子	5.3	3.9	6.7	-8.1	-2.6	-9.7	-6.9	-2.4

【-7%以上】 【-7~-3%】 【-3~0%】 【0~3%】 【3~7%】 【7%以上】
弱み ← → 強み

(3) 令和8年度の方針【学校全体での取組】

○…今年度の成果、●…課題

○児童会活動等で、スポーツに興味・関心を高められるようにスポーツクイズを企画したり、スポーツに親しめるようにスポーツ大会を設けたり、全校がスポーツに親しむ機会を設けた。
○各学年の実態に合わせ、体育の学習前にサーキットトレーニング等を取り入れ、持久力や筋力等の向上を図る運動をした。

●令和7年度の逆上がりの結果は、逆上がりができる児童が40.9%であり、目標としている50%に届かなかった。今年度から逆上がり補助具を用意した。休み時には使用する児童も見られ、練習に取り組んでいる様子が見られた。また、体育の学習時には、補助ベルト等を使い、鉄棒に体を寄せて回る感覚がつかめるようにした。しかし、逆上がりは1~3年生時での鉄棒に慣れていること、腕で自分の体重を支える感覚や力があることが必要である。来年度には、校舎内に低学年用の鉄棒等も用意し、運動感覚が長期的に養えるような環境を整備していきたい。

●学年内での指導方法の共有はできていたが、異学年間での共有ができていなかった。放課後や研究職員会議などの時間を使いながら、津田小学校全体として体育の指導力向上を図っていけるようにしたい。また、教員が体育の指導方法についての悩み等も共有していけるような環境の整備等も作っていききたいと思う